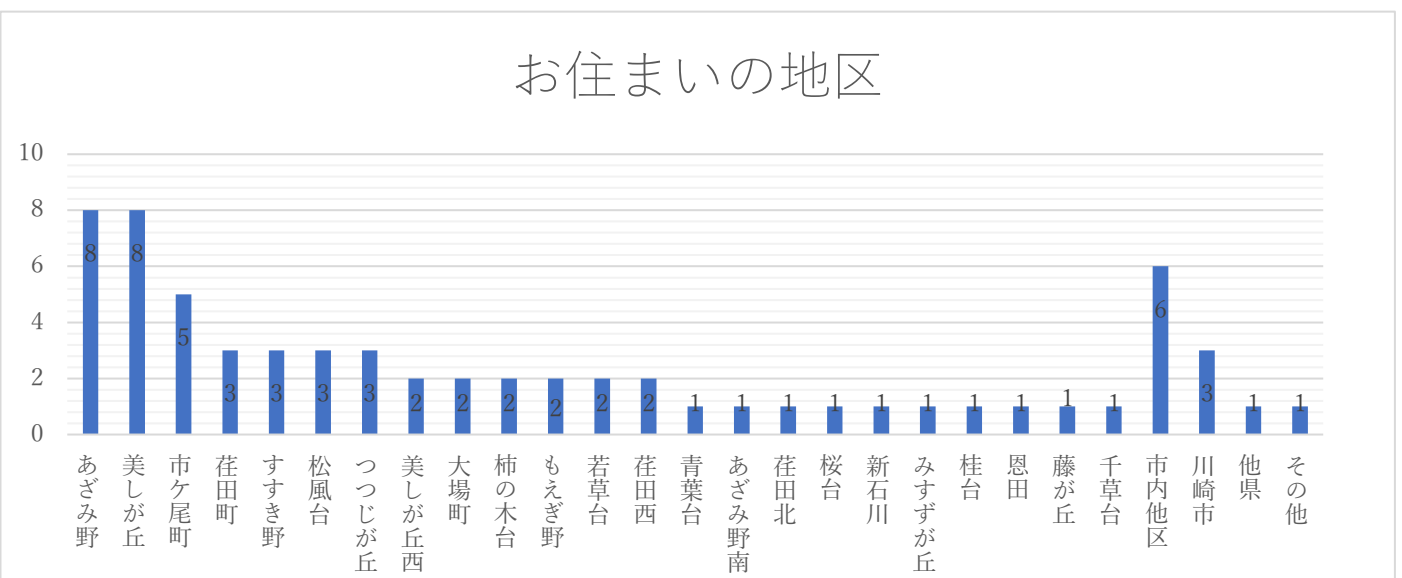
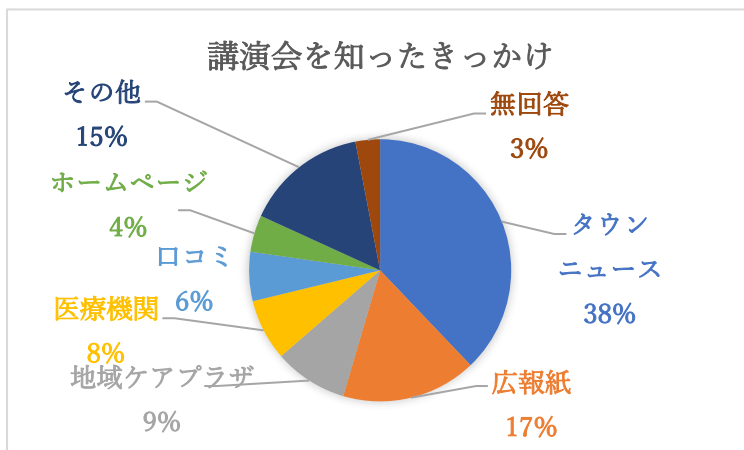
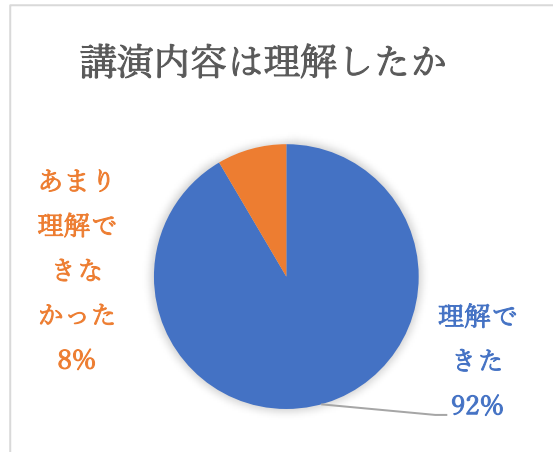
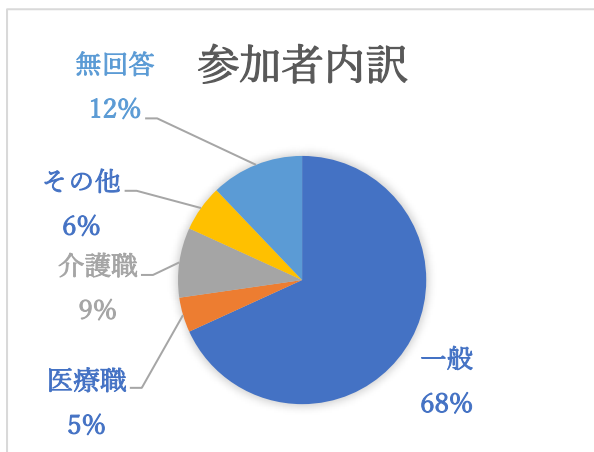
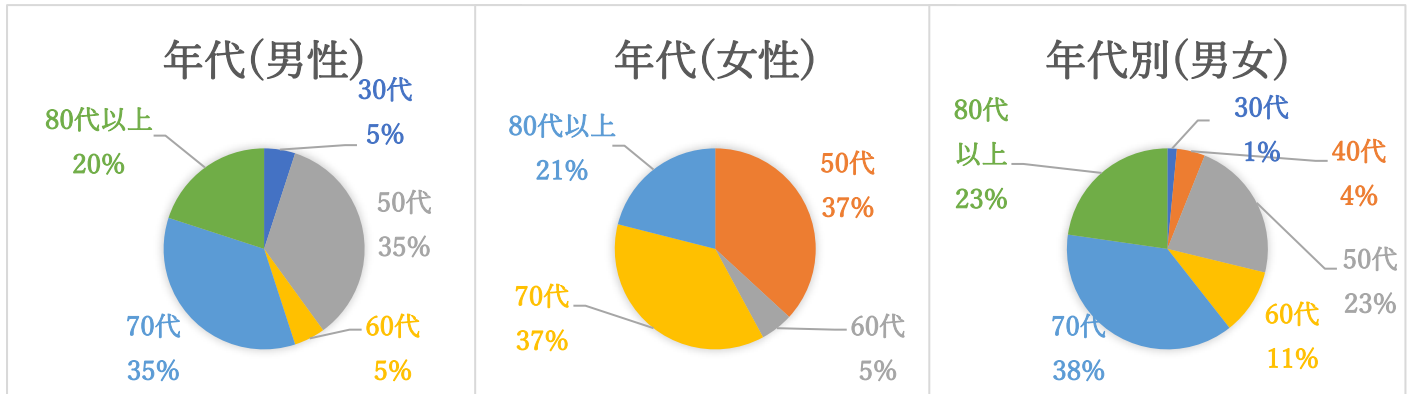


市民向け講演会 2022.12.3 アンケート結果

参加者数 78名 回答数 66名 回収率 84.6% 男性 26名 女性 40名



※アンケート内の代表的なご意見をまとめさせていただきました。

5. 講演内容についてのご意見

- ・地域ケアシステムについて理解できた。
- ・在宅医療(訪問診療・訪問看護)について理解できた
- ・内容、資料等、分かりやすかった。
- ・自分がどうしたいのかが大切なのだとわかった。
- ・2部の内容が印象深かった。
- ・具体例が聞けてよかった。
- ・会場の声を聴く時間が欲しい。
- ・チーム作りが大切だと思った。
- ・大まかなことは分かったが、各職種の話しをもっと詳しく知りたい。
- ・相談窓口や手続きについてもっと詳しく知りたい。

6. 本講演を聞き、一番興味深かったこと・ご質問等ございましたらお聞かせください。

- ・わたしノート、もしも手帳があるということ、活用の仕方を知った。
- ・在宅医療の実状がわかった。
- ・自分自身の生き方を考えておくきっかけになった。
- ・ACP(人生会議)について。家族と今後話し合いたいと思いました。
- ・家族に迷惑をかけたくない…ではなく、自分がどうしたいか考えて家族に伝えておくことが重要と思いました。
- ・何を準備すべきか。最後を迎えるまでの流れについて。なるべく最後まで思い出のある自宅で過ごせるよう準備を進めたい。
- ・具体的な事例が聞けて良かった。
- ・自宅で利用できる介護保険サービスについて、居宅介護支援事業所、地域ケアプラザについて詳しく知りたい。
- ・かかりつけ医をどうやって見つけるのか知りたい。

7. 今後どのようなテーマの講演会をご希望ですか？お気づきの点がありましたらご自由にご記入ください。

- ・一人住まいの生活を支えるシステムについて。
- ・終末期の在宅療養の事を、具体的な事例をもとにお話しただけるとよりイメージしやすいです。
- ・介護保険・医療保険・障害者手帳の使い分け。
- ・高齢を支える子供たちへの心構え
- ・尊厳死について。(本人の意志も大切である。)
- ・高齢者の心理。
- ・かかりつけ医との連携。
- ・認知症について
- ・介護する人の悩みの解決？
- ・がん哲学外来カフェの活動などについて。臨床宗教史の活動、活用について。
- ・実際に自分で意思決定ツールを作るワークショップ付きの講演会。
- ・エンディングノートに各種パスワードを書き込めるようにして欲しい。
- ・老人性難聴のため聞き取りづらかった。
- ・終末期になって、何人もの人が入れ替わった訪問をされるのは、辛いのではないか。最後はホームで過ごすほかないのでは？ホームに入る時期はいつか？